

記述例)

```
<HTML><HEAD><TITLE>My Homepage</TITLE></HEAD>
<BODY>
<CENTER>
<HR><FONT SIZE="5"><B>My Camera</B></FONT><BR>
<HR>
<BR>
<BR><HR><BR>
<FONT SIZE="2">
<A HREF="/album/family.html">マイ アルバム</A>|
<A HREF="/index.html">トップページ へ</A><BR><BR>
<A HREF="/help/index.html">ヘルプ</A>|
<A HREF="/questions/index.html">お問い合わせはこちら
</FONT></A>
<BR><BR>
</CENTER>
</BODY>
</HTML>
```

IMG SRC="video.jpg"

FTPサーバにアップロードしたカメラの画像"video.jpg"を指定します。HTMLファイルと別な場所に画像を送信しているときは、「video.jpg」の前にフォルダも指定してください。

width="320" height="240"

画面に表示される画像のサイズを指定します

■ FTPサービスが利用できないとき

自動更新をおこなうホームページを使ってカメラから定期的に最新画像を取得し表示させることができます。

以下HTMLソースのサンプルを参照にし、自動更新で画像を表示するホームページを作ります。

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>CS-MVTX01F Networkcamera</TITLE>
<script Language="JavaScript">
<!-- Hide me from other browsers
var timerID = null;

var timerRunning = false;
var image_object;
function stopclock (){
    if(timerRunning)
        clearTimeout(timerID);
    timerRunning = false;
( 1 ) }

function startclock () {
    // Make sure the clock is stopped
    stopclock();
    showtime();
}

function showtime () {
    var now = new Date();
```

(1)

```
var hours = now.getHours();
var minutes = now.getMinutes();
var seconds = now.getSeconds();
var timeValue = "" + ((hours >12) ? hours -12 :hours)
timeValue += ((minutes < 10) ? ":0" : ":") + minutes
timeValue += ((seconds < 10) ? ":0" : ":") + seconds
timeValue += (hours >= 12) ? " P.M." : " A.M."
document.webcam.src="http://192.168.1.100/cgi- ( 2 )
bin/video.jpg?" +timeValue;
```

```
timerID = setTimeout("showtime()",1000);
timerRunning = true;
}
```

```
// Netscapes Clock - Stop -->
```

```
</script>
```

```
<base target="_self">
```

```
</HEAD>
```

```
<BODY bgcolor="#ffffff" text="#000000" link="#0000ff"
alink="#008000" vlink="#800080" onLoad="startclock()">
```

```
<div align="center">
```

```
<center>
```

```
<table height="399" style="border-collapse: collapse" bordercolor="#111111" cellpadding="0" cellspacing="0" width="432">
```

```
<tr><td height="21" align="center" width="432">
```

```
<b><font size="5">My Auto Refresh Page </font></b>
```

```
</td></tr>
```

```
<tr><td height="349" width="432" align="center">
```

```
( 2 ) [ 
</td></tr>
</table>
<BR><HR><BR>
<FONT SIZE="2">
<A HREF="/album/family.html">マイ アルバム</A>|
<A HREF="/index.html">トップページ へ</A><BR><BR>
<A HREF="/help/index.html">ヘルプ</A>|
<A HREF="questions/index.html">お問い合わせはこちら
</FONT></A>
<BR><BR>
</center>
</div>
</BODY>
</HTML>
```

(1)の部分はJavaScriptの関数の記述した部分です。変更する必要がありません。(2)部分の中の「http://192.168.1.100/」IPアドレスを使用しているカメラのIPアドレスに書き換えます。カメラのIPアドレスは二個所に記述されており、両方を変更します。それ以外の部分はご自分のホームページに合わせて、自由に変更することができます。

カメラを使いこなそう

1.最適なパフォーマンスを得るための設定

最適なパフォーマンスとは、可能な限り最小限のネットワーク帯域幅を使ってできる限り速い画像のリフレッシュ(更新)レートおよび、可能な限り高い動画品質を得ることです。パフォーマンスの設定は「ビデオ/オーディオ」設定ページでおこないます。

左側のメニューから「オーディオ/ビデオ」をクリックします。次の設定画面が表示されます。



リアルタイム映像を最優先にしたい

リアルタイム効果を得るためには、最低でも秒毎20画像を送信できるネットワーク帯域幅が必要となります。

1Mbps以上のブロードバンドネットワークをご使用のときはビットレートを1000Kbps または 1200Kbpsにして、固定品質を「最良」にしてください。

● 注意

最大フレームレートは50Hzシステムでは25、また60Hzシステムでは30となります。

ビデオ

ビデオテキスト

カラー カラー

サイズ ノーマル

最大フレームレート 30

ビデオ品質調整:

☐ 固定ビットレート

☒ 固定品質

☐ フリップ ☐ ミラー

画像設定 保存

384 Kbps

64 Kbps

128 Kbps

256 Kbps

384 Kbps

512 Kbps

768 Kbps

1000 Kbps

1200 Kbps

固定品質を「最良」に設定

固定ビットレートを指定

ネットワーク帯域幅が384Kbps以上であるときは、帯域幅に合わせてビットレートを固定し、最大フレームレート(25または30)を固定してください。

ビデオ

ビデオテキスト

カラー カラー

サイズ ノーマル

最大フレームレート 30

ビデオ品質調整:

☐ 固定ビットレート

☒ 固定品質

☐ フリップ ☐ ミラー

画像設定 保存

384 Kbps

64 Kbps

128 Kbps

256 Kbps

384 Kbps

512 Kbps

768 Kbps

1000 Kbps

1200 Kbps

最大フレームレートを設定

固定ビットレートを指定

ご使用環境において画質が極端に劣化するときは、最大フレームレートを20に下げても送信データ量を減らすと画質が上がります(肉眼では、20フレーム/秒と25/30フレーム/秒の違いはほとんどありません)。

ネットワーク帯域幅が384Kbps以下のときは、帯域幅に合わせてビットレートを固定した上で、最適なパフォーマンスが得られるまで最大フレームレートを調整してください。

低速ネットワーク環境では、フレームレートが大きくなればなるほど画像はぼやけて表示されます。画像のサイズを「ハーフ」とすると画像品質を向上させることができ、「ハーフ x 2」で拡大表示することも可能です。

ビデオ

ビデオテキスト		
カラー	カラー ▾	
サイズ	ノーマル ▾	
最大フレームレート	30 ▾	最大フレームレートを設定
ビデオ品質調整：		
☒ 固定ビットレート	384 Kbps ▾	固定ビットレートを指定
☐ 固定品質	標準 ▾	
☐ フリップ	☐ ミラー	

● 注意

各パラメータを最適状態に調整しても、複数のユーザが同時に閲覧するときは、パフォーマンスはユーザごとに異なる可能性があります。各ユーザで環境が異なるため、迅速なネットワークではパフォーマンスも低下します。

画像の鮮明表示を最優先にしたい

最高の動画品質を得るためには、「ビデオ品質調整」で「固定品質」を「詳細」、または「最高画質」とした上で、最大フレームレートをご使用ネットワークの帯域幅に合うように設定します。低速なネットワーク環境において画像が乱れるときは、「クライアント設定」→「接続タイプ」でTCPプロトコルを選択してください。これで、より鮮明な画像が得られますが、ある程度遅れが生じます。なお、低速な接続環境で複数ユーザから閲覧したときは、パフォーマンスは劣化してしまいますのでご注意ください。

ビデオ

ビデオテキスト	
カラー	カラー ▾
サイズ	ノーマル ▾
最大フレームレート	30 ▾
ビデオ品質調整：	
☐ 固定ビットレート	384 Kbps ▾
☒ 固定品質	標準 ▾
☐ フリップ ☐ ミラー	最低画質 低画質 標準 同画質 最高画質

最大フレームレートを設定

固定品質を設定

リアルタイム映像 ↔ 鮮明表示の間で妥協したパフォーマンスを得たい

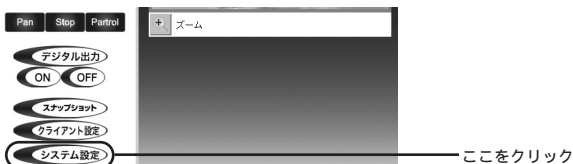
ブロードバンドネットワークをご使用のときは、帯域幅を固定せずに、「固定品質」を「標準」以上に設定します。もしくは、ネットワークの実際の速度に合わせて帯域幅を固定し、フレームレートを30に設定してください。画質がよくないときはフレームレートを15以上30以下の範囲で選択し、もし改善されなければ、より低い帯域幅を設定してください。

2 ユーザアカウントの設定

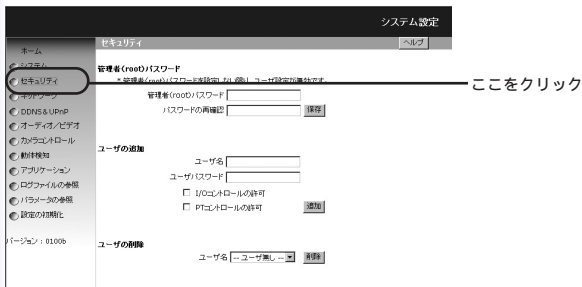
■ セキュリティは第一

本製品は工場出荷時パスワードが設定されていません。IPアドレスがわかれば、だれでもカメラにアクセスでき、システム設定も変更できます。外部ユーザがカメラにアクセスできるようになっている時は、まず管理者(root)のパスワードを設定してください。

トップページで「システム設定」をクリックします。



左側のメニューから「セキュリティ」をクリックします。次の設定画面が表示されます。



管理者(root)のパスワード」と「パスワードの確認」フィールドに新しいパスワードを入力し、[保存] をクリックします。

管理者(root)パスワード

* 管理者(root)パスワードを設定しない限り、ユーザ設定が無効です。

管理者(root)パスワード

パスワードの再確認

次にユーザアカウントを設定します。最大20人分のユーザアカウントが登録可能です。

ユーザの追加

ユーザ名

ユーザパスワード

☐ I/Oコントロールの許可

☐ PTコントロールの許可

ユーザアカウント用の「ユーザ名」と「パスワード」を入力します。

「I/Oコントロールの許可」ユーザにカメラの外部端子コントロールの権利をあたえることができます。

「PTコントロールの許可」ユーザにカメラのパン/チルト コントロール権利をあたえることができます。

● 注意

パン/チルト コントロールおよび、外部端子コントロールの権利は、ユーザごとに有効/無効にすることができます。

ユーザアカウントを削除したいときは、「ユーザ削除」→「ユーザ名」の一覧からユーザ名を選択して「削除」をクリックします。

ユーザの削除

ユーザ名

■「デモ」アカウントを作りたい

「デモ用のアカウントを許可する」オプションをオンすると、カメラへのアクセスの際にユーザ名として「demo」を入力すれば、パスワード無しで映像を「デモ版」として閲覧できます。また管理者は、制限数を超えて閲覧者が動画を見られるよう設定することも可能です。ただし、制限数を超えたユーザには動画のかわりに静止画像(スナップショット)が表示されます。

☐ デモ用のアカウントを有効

☐ 他のゲスト用のスナップショットホームページを有効

スナップショットインターバル: 秒

- マルチメディア対応の人気サイトを作りましょう
- ・ 友人に自慢したい!! 小・中規模アクセスサイト

本製品は、閲覧者10人までが同時にアクセスできます。カメラの設定とユーザアカウントの設定後(「付録A 2.ユーザアカウントの設定」(141ページ)参照) ご友人に閲覧用のカメラアドレスを連絡して、映像をご覧いただけます。ユーザはカメラの設定項目にアクセスできませんので、設定が変更されてしまう心配もありません。

● 注意

外部の閲覧者がアクセスできるように設定するときは、「セキュリティ」設定画面上であらかじめユーザアカウントを登録し、未登録のユーザがアクセスできないようにしてください

- ・ e-business用としてカメラを使いたい- 大規模アクセスサイト

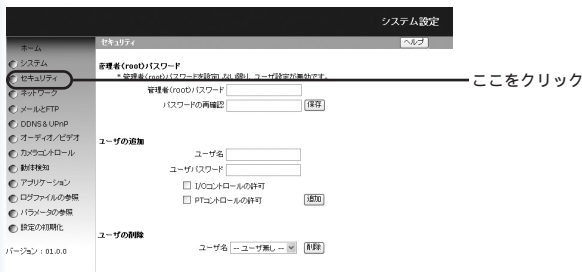
本製品は、同時に10人までのアクセスが可能です。それ以上閲覧者がアクセスしたときは、超過分のユーザにスナップショットのホームページを表示できます。スナップショットモードではJPEG静止映像を表示され、一定間隔で更新されます。

トップページで「システム設定」をクリックします。



左側のメニューから「セキュリティ」をクリックします。

ページ最下部の「他のゲスト用のスナップショットホームページを有効」にチェックを入れます。



「スナップショットインターバル」で、静止画像が更新される時間の間隔を設定します。間隔が長いほど、より多くの閲覧者にスナップショットホームページを提供できます。

☐ デモ用のアカウントを有効

☐ 他のゲスト用のスナップショットホームページを有効

スナップショットインターバル: 10 秒 保存 ここを設定

● 注意

本機能を使用するためには、ブラウザ側がスクリプト機能に対応している必要があります。

- ・大規模アクセスサイトを公開したい

さらに多くの閲覧者を集めたいときは、大容量ネットワークトラフィックの処理が可能なWebサイトを構築された上で静止画像の更新間隔を短めに設定してください。

- FTPサービスが利用できるとき

本製品をFTPへ画像アップロードするように設定しておきます。そのときは、本製品へのアクセスが閲覧者に依存しないため品質を確保できる利点があります。

トップページで「システム設定」をクリックします。



左側のメニューから「メールとFTP」をクリックします。

システム設定

ヘルプ

ホーム

システム

セキュリティ

ネットワーク

メールとFTP

DDNS & UPnP

オーディオ/ビデオ

カメラコントロール

録画機能

アプリケーション

ログファイルの参照

パラメータの参照

設定の初期化

バージョン: 01.0.0

SMTP

SMTP メールサーバ 1

SMTP ユーザー 1

SMTP パスワード 1

宛先 メールアドレス 1

SMTP メールサーバ 2

SMTP ユーザー 2

SMTP パスワード 2

宛先 メールアドレス 2

送信メールアドレス

CS-WMV010

FTP

FTP サーバのポート番号

FTPサーバ 1

FTP ユーザー 1

FTP パスワード 1

フォルダ名 1

☐ プライマリ-FTP/パッシブモード

FTP サーバ 2

FTP ユーザー 2

FTP パスワード 2

フォルダ名 2

☐ セカンダリ-FTP/パッシブモード

以下のとおりにFTPを設定します。

FTP

FTP サーバのポート番号

FTPサーバ 1

FTP ユーザー 1

FTP パスワード 1

フォルダ名 1

☐ プライマリ-FTP/パッシブモード

FTP サーバ 2

FTP ユーザー 2

FTP パスワード 2

フォルダ名 2

☐ セカンダリ-FTP/パッシブモード

「FTPサーバのポート番号」

初期設定のポートは21で、通常は変更する必要がありません。
他の番号にも設定できますが、変更後は外部FTPクライアント側でもサーバポートの設定を同様に変更する必要があります。

「FTPサーバ1」

外部FTPサーバのドメイン名、またはIPアドレスです。

「FTPユーザ名1」

外部FTPサーバにログインするときに使われるユーザ名です。

「FTPパスワード1」

外部FTPサーバにログインするときに使われるパスワードです。

「フォルダ名1」

外部FTPサーバ上の既存のフォルダ名です。JPEG画像が指定したフォルダにアップロードされます。

「プライマリーFTPパッシブモード」

パッシブモードFTPを利用するときはチェックを入れます。不明なときはネットワーク管理者にお問い合わせください。

以降のFTPサーバ2に関する項目は、バックアップFTPサーバの情報です。バックアップFTPサーバ設定しないときはスキップしてください。

画面の下部にある[保存]をクリックし、システムが再起動するまでお待ちください。

左側の「アプリケーション」をクリックします。

システム設定

ヘルプ

アプリケーション

曜日スケジュール

☐ 日曜日 ☐ 月曜日 ☐ 火曜日 ☐ 水曜日 ☐ 木曜日 ☐ 金曜日 ☐ 土曜日

スナップショット開始時間 [00:00:00] [hh:mm:ss]

スナップショット終了時間 [00:00:00] [hh:mm:ss]

☐ 上記以外の時間

☐ イベント動作

基本設定

イベントが発生してから [3] 秒遅れて再発知

イベント後 [1] 秒でスナップショットを取る

トリガー条件

☐ 入力電圧が高 ☐ 入力電圧が低 ☐ 入力電圧が上昇 ☐ 入力電圧が下降

動作検知:

☐ 未定義 ☐ 未定義 ☐ 未定義

注: まずは [動作検知](#) を設定してください。

トリガーアクション

☐ 条件になったら、アラームをトリガーする

☐ 動作検知したら、アラームをトリガーする

バージョン: 01.0.0

ここをクリック

以下のとおりに「曜日スケジュール」を設定します。

曜日スケジュール

☐ 日曜日 ☐ 月曜日 ☐ 火曜日 ☐ 水曜日 ☐ 木曜日 ☐ 金曜日 ☐ 土曜日

スナップショット開始時間 [00:00:00] [hh:mm:ss]

スナップショット終了時間 [00:00:00] [hh:mm:ss]

☐ 上記以外の時間

「日曜日」

カメラのスナップショットの撮り始めと撮り終わりの曜日を
選択してください。

「スナップショット開始時間」

スナップショット撮影の開始時間を設定します。例:「09:30:00」

「スナップショット終了時間」

スナップショット撮影の終了時間を設定します。例:「18:45:00」

「上記以外の時間」

上記に設定された時刻以外は常にスナップショットを撮るよう
に設定します。

画面の下部で「シーケンシャル オペレーション」にチェックを
入れて「(...) 秒ごとにスナップショット」で更新間隔を設定し
ます。 更新間隔を短めに設定してください。

「スナップショットをFTPで送信」を選択し「FTPスナップショッ
トは、日付け/時刻を付加」チェックをはずします。「保存」を
クリックします。

☐ シーケンシャル オペレーション

秒ごとにスナップショット

☐ スナップショットをメールで送信

☒ スナップショットをFTPで送信

☐ FTPスナップショットは、日付/時刻を付加

保存

画像が指定したフォルダに正しくアップロードされていることを確認します。画像は「video.jpg」の名前でアップロードされます。あらかじめ、今回FTP経由でアップロードした画像を表示するホームページをご用意ください。

- FTPサービスが利用できないときは

自動更新を行うホームページを使用することで、本製品から定期的に最新画像を取得し表示させることが可能です。

自動更新ホームページをご用意ください。画像のアドレス (URL) はhttp://(本製品のIPアドレス)/cgi-bin/video.jpgとなります。次に、ご使用ネットワークの帯域幅で最適な映像が表示されるよう、更新間隔を設定してください。閲覧者が非常に多い状態で頻繁に更新を行うと、本製品への負荷が増大し映像表示が遅くなることがあります。

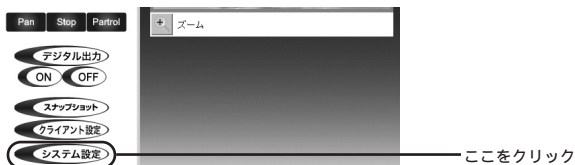
3 セキュリティアプリケーションの設定

「アプリケーション」設定ページ上のオプションを組み合わせること
で多数の便利なアプリケーションを実行することができます。
トリガーソースとしては、接続した外部機器からの検出、および
「動体検知」があります。さらにイベントに応答するアクションと
して、インターネット経由でスナップショットのアップロードと、
アラームのトリガーを選択できます。スナップショットのアップ
ロードは、ニーズに合わせてメールまたはFTPにての送信を選べ
られます。どちらの方法も、「ネットワーク」設定ページから設
定をおこないます。

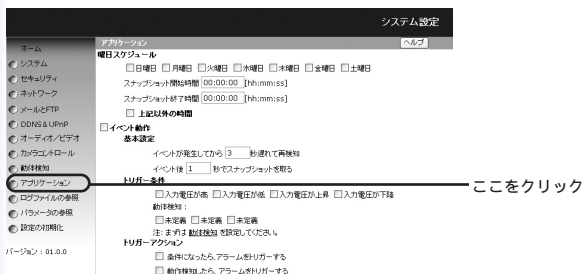
A. スケジュールの設定

第一のステップとしては、セキュリティアプリケーションのスケ
ジュールを設定します。

3-1. トップページで「システム設定」をクリックします。



3-2. 左側のメニューから「アプリケーション」をクリックします。



3-3. 「曜日スケジュール」で曜日を選択し「スナップショット開始時間」および「スナップショット終了時間」指定します。

3-4. 「イベント動作」にチェックを入れます。

3-5. 「イベントが発生してから「...」秒遅れて再検知」で遅延時間をします。これで、最初のイベント発生後に誤報アラームが止まらなくなる現象を回避することができます。

3-6. 「イベント後「...」秒でスナップショットを取る」で遅延時間をします。これで、移動する物体の方向をキャプチャすることができます。

B. 動体検知したらスナップショットを送信する

外部センサーを使用しないときは、本製品の動体検知機能を使って被写体の動きをモニターできます。セキュリティチェック用にスナップショットをメールに添付して送信することが可能です。

3-7. 左側のメニューから「動体検知」をクリックします。



3-8. 「動体検知を有効」にチェックを入れます。

3-9 「新規」をクリックし、動体検知用のウィンドウを表示します。

3-10. 「地域の名前」にウィンドウの名前を入力します。

3-11. 検知地域ウィンドウのタイトルバーをドラッグしてウィンドウを移動したり、ウィンドウの端をドラッグしてリサイズしたりすることができます。

検知ウィンドウを3つまで追加できます。



3-12. 「感度」で動体検出の感度を設定します。感度が高いほど動きが検出しやすくなります。

3-13. 「変化比率」を設定します。変化比率が高くなるほど、移動する小さな物体が検出しにくくなります。

3-14. [保存]をクリックします。

左下に動体検知の状態を表すバーが表示されます。緑表示は、ウィンドウ内の動作が設定されているレベル以下であることを示し、赤表示はレベル以上であることを意味します。



● 注意

変化比率は、低めの設定を推奨します。高感度と低変化比率の設定で、動体検出はより簡単におこなわれます。低変化比率では、選択された検出ウィンドウの全体をカバーする必要がなく、ウィンドウ内の小さな動きでも検出機能を動作させます。

3-15. 左側のメニューから「アプリケーション」をクリックし、アプリケーション設定画面に戻ります。

3-16. 「トリガー条件」では、ステップ4で設定した検出ウィンドウ名にチェックを入れます。

トリガー条件

☐ 入力電圧が高 ☐ 入力電圧が低 ☐ 入力電圧が上昇 ☐ 入力電圧が下降

アクション検知:

☒ WINDOW1 ☐ 未定義 ☐ 未定義

ウィンドウをチェック

3-17. 「トリガーアクション」では、「動体検知したら、スナップショットを送信する」にチェックを入れます。

トリガーアクション

- ☐ 条件になったら、アラームをトリガーする
 - ☐ 動作検知したら、アラームをトリガーする
 - ☐ 条件になったら、スナップショットを送信する
 - ☒ 動作検知したらスナップショットを送信する
 - ☐ 出力リセット
- ここをチェック

3-18. ニーズに合わせて「スナップショットをメールで送信」、あるいは「スナップショットをFTPで送信」を選択します。

- ☐ スナップショットをメールで送信
 - ☒ スナップショットをFTPで送信
 - ☒ FTPスナップショットは、日付/時刻を付加
- 保存

3-19. [保存] をクリックして設定を保存します。

無線LANでつながろう

本製品の無線LAN設定と無線LANセキュリティの設定について説明します。

無線LANの電波は誰でも受信できるため、無線LANセキュリティ設定をすることをお勧めします。

1. 無線LAN設定と無線LANセキュリティ設定

設定を始める前に、お使いの無線LANを調べてください。

「WLAN設定」は、接続先の無線LAN通信機器と同じ設定をします。

■ お使いの無線LAN

接続先の無線LAN機器のマニュアルを参照してください。

・ 無線LAN設定

	お客様記入欄
接続設定	
SSID	

・無線LANセキュリティ設定

	お客様記入欄		
暗号化の有効／無効	有効	または	無効
暗号化(WEP/WPA)			

本製品はWEP暗号化方式のみ設定できます。

「データ暗号化」チェックボックスのチェックを入れると、暗号化が有効になります。

・暗号化設定内容

	お客様記入欄			
認証モード	自動	または	オープンキー	または 共有キー
キーの長さ	64bit	または	128bit	
キーフォーマット	16 進数	または	文字列	
デフォルトキー※				

デフォルトキーには「WEP暗号キー」を設定します。

■ 設定例

設定例を次のようにします。

実際の設定は、お使いの無線LANにあわせてください。

SSID	planex
無線モード	インフラストラクチャ
データ暗号化	有効
認証モード	共有キー
キーの長さ	64bit
キーフォーマット	6 進数
デフォルトキー	abcdef1239

2. 無線LAN設定の表示

2-1. 設定用コンピュータのIPアドレスを設定します。

IPアドレスの設定については、「5章 設定用コンピュータの準備」(38ページ)を参照してください。

2-2. 本製品と設定用コンピュータをLANケーブル(クロスタイプ)で接続します。

2-3. カメラの映像を表示します。

表示方法については、「第7章 カメラの映像を表示する」(62ページ)を参照してください。

2-4. カメラの映像画面(WEBブラウザの画面)の「システム設定」をクリックします。

「システム設定」が表示されます。

2-5. 「ネットワーク」をクリックします。

「ネットワーク」設定が表示されます。

「ネットワーク」の「WLAN設定」で無線LAN設定と無線LANセキュリティ設定をします。

3. 設定の保存と適用

無線LAN設定、無線LANセキュリティ設定をしたら、次の手順で設定を保存し適用します。

3-1. [保存] をクリックします。

本製品に設定が保存されます。

3-2. WEBブラウザを終了します。

3-3. 本製品とコンピュータからLANケーブルを取り外します。

3-4. 本製品を再起動します。

本製品リセットボタンを1秒押します。

本製品の「WLAN設定」が有効になり、無線LANネットワークに接続します。

● ワンポイント

- ・ 接続先の無線LAN通信端末(アクセスポイント)にDHCPサーバ機能があるときは
「ネットワーク」の「次回起動時にIPアドレスをリセット」のチェックをオンにすると、本製品を再起動したときにIPアドレスを自動的に取得・変更します。
- ・ 接続先の無線LAN通信端末(アクセスポイント)にDHCPサーバ機能がないときは
「ネットワーク」の「次回起動時にIPアドレスをリセット」のチェックをオンにして本製品を再起動しても、IPアドレスは変更されません。
- ・ 設定を間違えてしまったときは
設定を間違えた状態で本製品を再起動すると、ネットワークに接続できなくなります。そのときは、一度、本製品を初期化して、もう一度設定をしてください。

ネットワーク&コンピュータあれこれ

1. TCP/IPのインストール

Q : TCP/IPのインストール方法を教えてください。

A : Windows 2000/Me/98SEで「ローカルエリア接続のプロパティ」にTCP/IPがないときは、次の手順でTCP/IPをインストールします。

Windows Me/98SEのときは「ネットワーク」になります。

■ Windows 2000編

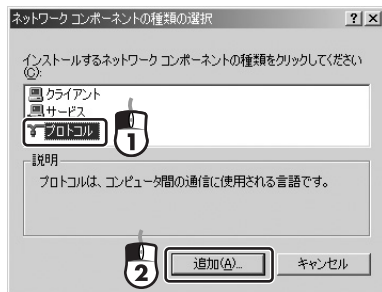
「ローカルエリア接続のプロパティ」の表示方法については、「第5章 設定用コンピュータの準備」(38ページ)を参照してください。

1-1. 「全般」タブの「インストール」をクリックします。



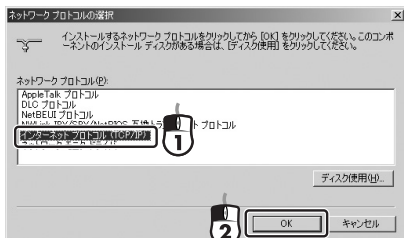
「ネットワークコンポーネントの種類の選択」が表示されます。

1-2. 「プロトコル」を選択し、「追加」をクリックします。



「ネットワークプロトコルの選択」が表示されます。

1-3. 「ネットワークプロトコル」から「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、[OK] をクリックします。



「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されます。



「チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています」欄に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が追加されたことを確認します。

■ Windows Me/98SE編

「ネットワーク」の表示方法については、「第5章 設定用コンピュータの準備」(36ページ)を参照してください。

1-4. 「ネットワークの設定」タブの[追加]をクリックします。



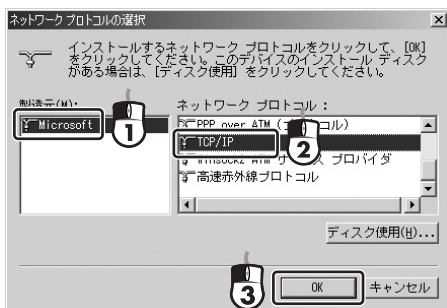
「ネットワークコンポーネントの選択」が表示されます。

1-5. 「プロトコル」を選択し、[追加] をクリックします。



「ネットワークプロトコルの選択」が表示されます。

1-6. 「製造元」から「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」から「TCP/IP」を選択して、[OK] をクリックします。



「ネットワーク」が表示されます。



「現在のネットワークコンポーネント」欄に「TCP/IP」が追加されたことを確認します。

2. カメラに接続できない

Q : CS-WMV01Gに接続できません。

A : 以下を確認してください。

1. 管理者権限 (root) パスワードを設定していますか？

本製品の初期設定では管理者権限 (root) パスワードは設定されていません。パスワードを忘れてしまったときは、本製品の管理者にパスワードを問い合わせてください。

2. IPアドレスはコンピュータと同じネットワークグループですか？

ネットワークのグループが同じIPアドレスでないと通信はできません。コンピュータのIPアドレスが「192.168.1.101」、サブネットマスクが「255.255.255.0」のとき、本製品に設定するIPアドレスは、「192.168.1.○○」となります。

(○○○は101を除く1～254の任意の数字です)

また、接続形式によって以下の点も確認してください。

■ 有線LANでコンピュータに直接接続している

LANケーブルにはクロスタイプを使用していますか？

本製品をコンピュータに直接接続するときは、LANケーブルはクロスタイプを使用してください。

■ 有線LANでブロードバンドルータ、HUBまたはスイッチに接続している

1. 正しいLANケーブルを使用していますか？

本製品をブロードバンドルータ、HUBまたはスイッチに接続

するときは、各機器のマニュアルを参照して適切なLANケーブルを使用してください。本製品はコンピュータと同じ扱いになります。

2. IPアドレスは自動・手動取得のどちらですか？

ルータまたはHUBにDHCPルータ機能があるときは、本製品はIPアドレスを自動取得・変更します。

ルータ上から本製品のIPアドレスを確認してください。ルータの操作方法については、ルータのマニュアルを参照してください。

IPアドレスが固定設定のときは

ネットワークのグループが同じIPアドレスでないと通信はできません。

コンピュータのIPアドレスが「192.168.1.101」、サブネットマスクが「255.255.255.0」のとき、本製品に設定するIPアドレスは、「192.168.1.○○○」となります。

(○○○は101を除く1～254の任意の数字です)

誤ったIPアドレスを設定して本製品に接続できなくなったときは、本製品を一度初期化し、もう一度設定を行います。

■ 無線LANで接続している

1. 無線LAN設定を行った後で、本製品の電源を一度オフにしていますか？

無線LAN設定を有効にするには、設定後に一度本製品の電源をオフ(ACアダプタを取り外した状態)にし、再度電源をオン(ACアダプタを接続した状態)にします。

2. 設定内容はありますか？

- ・SSID(無線LANネットワークグループ名)
- ・無線通信モード
- ・暗号化設定

無線LAN機器同士で設定内容が同じときだけ通信ができます。

本製品で設定できる暗号方式はWEP暗号方式のみになります。

3. IPアドレスは自動・手動取得のどちらですか？

ネットワーク上にDHCPサーバがあるときは、本製品はIPアドレスを自動取得・変更します。

DHCPサーバ上から本製品のIPアドレスを確認してください。
DHCPサーバの操作方法については、DHCPサーバのマニュアルを参照してください。

4. 障害物はないですか？

無線LAN範囲はお使いの環境で変化します。通信する機器との間に障害物がないことを確認してください。

5. 他の規格の無線機器がありませんか？

無線LANとBluetooth™の電波の規格は同じため、近くにBluetooth機器があるときなど通信できないことがあります。
これ以外にも電波を使用する機器が影響することもあるため、他に無線電波を使用する機器がないことを確認してください。

IPアドレスが固定設定のときは

ネットワークのグループが同じIPアドレスでないと通信はできません。

コンピュータのIPアドレスが「192.168.1.101」、サブネット

マスクが「255.255.255.0」のとき、本製品に設定するIPアドレスは、「192.168.1.○○○」となります。

(○○○は101を除く1～254の任意の数字です)

誤った設定によって本製品に接続できなくなったときは、本製品を一度初期化し、もう一度設定をしてください。

3. 通信速度が遅い？

Q：無線LAN通信で接続していて、映像が遅く表示されます。

A：無線LAN通信は通信環境の影響によって通信速度が変わることがあります。以下の点を確認してください。

1. 無線LAN機器の設置場所は良好ですか？

無線通信する機器の間に壁や家具などの障害物があるとき、電波が遮られパフォーマンスが低下する場合があります。出来るだけ障害物の無い環境で使用したほうが、良好なパフォーマンスが得られやすいと言えます。

2. 通信距離を確認してください。

無線LANで通信を行う接続先機器との距離によって、通信速度が変化する場合があります。

3. 家庭電化製品のノイズが影響を与える場合があります。

例えば、家庭で使われている電子レンジ、Bluetooth機器は、無線LAN(IEEE802.11b/g規格)と同じ、2.4GHz帯域の電磁波を使用しており、思わぬ影響を与える場合があります。

4. 無線LANの端末機が複数台ありませんか？

ひとつのアクセスポイントに、無線LANで通信するコンピュータが複数台集中したとき、それぞれの通信速度は遅くなってしまいます。

トラブルシューティング

1. カメラの設定

Q：設定画面を表示できません。

A：WEBブラウザの設定を確認してください。

- ・プロキシサーバを設定しているときは、プロキシサーバの設定を解除してください。
- ・セキュリティを設定しているときは、「信頼済みサイト」に本製品のIPアドレスを登録してください。本製品の初期設定のIPアドレスは、「192.168.1.100」です。

Q：「ホーム」を選択したのにカメラの向きが少しずれてしまう

A：手でカメラの向きを変更すると軸がずれてしまい、「ホーム」を選択しても中央に戻らなくなります。設定画面の「設定の初期化」から「キャリブレーション」をクリックするか、一度電源を入れ直すと元に戻すことができます。

Q：タイムスタンプ上の時刻がコンピュータ上の時刻表示と違います。

A：タイムスタンプ上の時刻は本製品のシステム時間を元に表示されます。コンピュータと同期させることや、ネットワーク上のNTPサーバに接続して同期させることもできます。「システム設定」の「システム」の中で最適な更新方法を選択してください。

Q：パスワードを忘れてしまったらどうしたらよいのでしょうか？

A：カメラにアクセスするユーザの方は、本製品の管理者にパスワードを問い合わせてください。

管理者権限（root）のパスワードを忘れたときは、設定を初期化してください。「第2章3.本体側面」（20ページ）を参照し、本製品の初期化を行ってください。

Q：動体検出ウィンドウを開いているのですがうまく動作しません。

A：動体検出ウィンドウを設定／保存しているときは、「動体検知を有効」チェックボックスのチェックがオンになっている事を確認してください。この機能が有効となっている状態で「感度」および「変化比率」の調整を行ってください。

2. カメラの映像の閲覧

Q：アクセスすると警告が表示されてカメラの映像が表示されません。

A：ブラウザのセキュリティ設定で「未署名のActiveXコントロールのダウンロード」を有効にしてください。

Q：再生画像が遅くコマ送りのようになってしまいます。

A：大勢のユーザがアクセスするときや、回線の帯域幅が狭い（速度が遅い）ときは、連続したデータをスムーズに送信することができなくなります。「オーディオ/ビデオ」の設定で「フレームレート」を下げるか、「ビデオ品質調整」で「固定品質」を「標準」などに設定してください。

Q：画像が鮮明に映りません。

A：本製品を適切な位置に設置した後、レンズを回して焦点を調整してください。また、「オーディオ/ビデオ」の「イメージ設定」にて、画像設定およびホワイトバランスを微調整することで最適な画質にすることができます。

Q：画像が定期的に更新されないのですが？

A：ウイルス対策ソフトやインターネットセキュリティソフトを使用していませんか？

ウイルス対策ソフトやインターネットセキュリティソフトによっては、WEB経由で受信した内容をフィルタリングする機能を持つものがあります。同機能実行中はデータの検査に時間がかかるため、本製品のようなストリーミングアプリケーションに影響を及ぼすことがあります。ただし、同現象に影響されるのは本製品のHTTPモードのみとなります。ご使用ネットワーク上でHTTPモードのみ許可されているときは、ご使用ウイルス対策ソフトのWEBフィルタリング機能を一時的に無効にしてください。ただし同機能が無効となっている間は悪意のあるネットワーク上の活動の影響を受ける危険性があります。

Q：映像は表示されるのですが音が何も聞こえてきません。

A：画像の上に"V_ONLY"と表示されるときは、「クライアント設定」で「音声を使用しない」のチェックを外してください。

"V"と表示されているときは、ご利用のコンピュータのサウンドカードが正しくインストールされていない可能性が考えられます。

"AV"と表示されているときは、本製品の音源（内部・外部マイク）をご確認ください。

Q：認証を受けたあともネットワークカメラからの動画映像が見られません。

A：当現象にはいくつかの原因が考えられます。

1. 本製品のインストールが済んだばかりの状態では動画が確認できないときは、Active LEDが点滅しているか、またレンズキャップが外されているかどうかご確認ください。Active LEDが消えているときは、CS IP-Masterユーティリティのインストールを再度行ってください。
2. 本製品が正常にインストールされており、Internet Explorerで本製品に対し初めてアクセスしているときは、Internet Explorerのセキュリティレベルを調整してプラグインのインストールが行えるようにしてください。
3. 上記調整を行っても状況が改善せず、かつ画像ウィンドウの上に"connecting"メッセージが表示されるときは、ネットワーク上のトラフィックが混雑していることが考えられます。

3. カメラ画像の公開

Q：ブロードバンドルータ環境で利用しているが、LAN上のコンピュータからはアクセスできるがインターネットからカメラにアクセスできません。

A：「ネットワーク」画面のIPアドレスの設定でデフォルトゲートウェイにブロードバンドルータのLAN側IPアドレスが設定されているか確認してください。さらに、ブロードバンドルータのポート転送(ローカルサーバ設定、静的マスカレード設定)の設定が行われているか確認してください。マニュアル

「第11章2.ルータを介してインターネット上に公開したいとき」も参考にしてください。

Q：ネットワークカメラを極力、非公開な状態で使用することは可能ですか？

A：ユーザ認証は、本製品を不正アクセスから守ります。またHTTPポートを非公開の暗号に変更することも可能です。「デモ用のアカウント」を設定することによりゲストユーザと正規ユーザの区別が容易になり、ゲストユーザのアクセスはいつでも禁止することが可能です。またシステムログを確認して、異常な動作があったときはその発信源を追跡することもできます。ブロードバンドルータ環境のときは、ルータ側でポート転送の設定を行わなければ、インターネットから閲覧されることはありません。

4. その他

Q：天井に設置することは可能ですか？

A：可能です。「オーディオ/ビデオ」でフリップおよびミラーの設定をおこなうことで、上下逆さまの状態を設置したときの映像を補正することができます。

Q：カメラから動画データ以外のパケットが送信されます。

A：「UPnP」機能が有効になっていることが原因です。「UPnP」機能を有効すると、UPnPを利用するためのパケットがカメラから送信されます。UPnP機能を使わないときは、「システム設定」の「DDNS & UPnP」画面で「Universal PnP」のチェックをオフにしてください。

Q：プラグインは何のために使用するのですか？

A：本製品の提供するプラグインは、Internet Explorer上で動画および音声を利用するために使用します。ご利用のシステム上でプラグインのインストールが禁止されているときは、ご使用WEBブラウザのセキュリティレベルを下げる必要があります。

Q：ネットワークカメラの動画速度はどのくらいですか？

A：MPEG4コーデックエンジンは本製品内部で30フレーム/秒の処理が実行可能です。ネットワークに接続して使用するときは、以下の要因などで10～20フレームになります。

- ・ ネットワークスループット
- ・ 本製品上で使用可能な帯域幅
- ・ ユーザ数
- ・ ビュー内で複雑な物体または動きがある場合
- ・ ご使用コンピュータの処理能力

Q：ネットワークカメラの映像を同時に閲覧できるユーザの最大数は何人ですか？

A：スムーズに画像を閲覧・音声の鑑賞をおこなうためには、最大10名までの本製品への接続を推奨します。より多数のユーザに対しアクセスを許可するときは、別途WEB サーバを構築し、本製品への接続をWEBサーバのみに限定して、ユーザはWEBサーバが取り込んだ画像と音声を鑑賞する方式を推奨します。

仕様

カメラ部	映像素子	1/4インチカラーCCD
	解像度	352×240、176×120、704×480ピクセル
	画素数	27万画素
	フレームレート	1、2、3、5、10、15、20、25、30フレーム/秒
	画像圧縮方式	MPEG4
	ビットレート	64、128、256、384、512、768、1000、1200 kbps
	最低被写体照度	1 Lux (F2.0)
	撮影レンズ	4.3mm F2.0
	電子シャッター	1/60～1/15,000秒
	撮影距離	40cm～∞
	パン(左右)	角度270°(±135°)、回転速度10°～50°/秒
	チルト(上下)	角度135°(+90°～45°)、回転速度7°～25°/秒
	ホワイトバランス	自動
	AE機能	自動
	ゲインコントロール	自動
マイク部	画質調整	輝度(+5～-5)、コントラスト(+5～-5)、彩度(+5～-5)、色調(+5～-5)
	その他	上下反転(フリップ)、左右反転(ミラー)、白黒モード、動体検知
	音声入力	無指向性マイク内蔵
	サンプリングレート	24Kbps、8KHz
	周波数帯域	50～16,000Hz
インターフェイス	S/N比	58dB以上
	サポート規格	IEEE802.3/IEEE802.3u準拠(10BASE-T/100BASE-TX)
	ポート数	RJ-45×1ポート
	通信速度	10BASE-T/100BASE-TX自動認識
	MIC入力	モノラルミニジャック(Φ3.5mm)、2V(RMS)
	A/V出力	ミニジャック(Φ3.5mm)、オーディオ出力 900mv(RMS)、ビデオ出力 75Ω/Vp-p
	セキュリティ	ユーザー名、パスワード
	対応プロトコル	UPnP、TCP/IP、HTTP、SMTP、FTP、NTP、DNS、DHCP、DDNS
無線インターフェース	最大ユーザー数	10ユーザー
	対応ダイナミックDNS※	DynDNS.org、DynamicDol、MyDNS
	規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b
	伝送速度 11g	6Mbps、9Mbps、12Mbps、18Mbps、24Mbps、36Mbps、48Mbps、54Mbps
	伝送速度 11b	1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、11Mbps
	セキュリティ	WEP(64bit/128bit)
	アンテナ方式	ダイバシティアンテナ
画像表示/環境設定	対応OS	Windows XP/2000/Me/98SE
	WEBブラウザ	Internet Explorer 5.5以上
専用ユーティリティ動作環境	対応OS	Windows XP/2000/Me/98SE(Windows XP/2000推奨)
	CPU	Pentium II 350MHz以上(Pentium III 1GHz以上推奨)
	メモリ	128MB(256MB推奨)
	VGAカード解像度	800 x 600以上
LED	Power/Mic(電源/マイク)、Activity(ネットワーク)	
ACアダプタ	入力: AC100～240V、50/60Hz、0.4A	
	出力: DC12V、1.5A	
電源電圧	DC12V	
消費電力	最大9W	
EMI規格	CE、FCC Class B	
動作温度/動作湿度	0～40℃/35～85%(結露しないこと)	
外形寸法/重量	105(W) x 110(H) x 105(D) mm(アンテナ部含まず)/390g(アンテナ部含む)	
保証期間	1年	

※最新対応サービスは弊社ホームページをご覧ください。

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/>

弊社へのお問い合わせ

■ 弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPLANEX Directまで。

ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

PLANEX Direct

<http://direct.planex.co.jp/>

■ 製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

ご質問/お見積もりフォーム

<http://www.planex.co.jp/lan.shtml>

■ 技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

お問い合わせフォーム

<http://www.planex.co.jp/support/techform/>

受付：24時間

電話

フリーダイヤル：0120-415977

受付：月～金曜日、10～12時、13～17時

* 祝祭日および弊社指定の休業日を除く

FAX

ファクス番号：03-5614-1018

受付：24時間

お問い合わせ前をお願い

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力をお願いいたします。

- ・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名(Windows XP/Meなど)
- ・ご利用のネットワークの環境(回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ご質問内容(現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されているときはその詳細を書きとめてください)

■ その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

ブラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp/>

質問表

技術的なご質問は、この2ページをプリントアウトして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

ブラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX：03-5614-1018

送信日： 年 月 日

会社名		部署名	
名前			
電 話		FAX	
E-MAIL			

製品名	有線／無線LAN対応ネットワークカメラ
型番 Product	CS-WMV01G
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② ソフトウェア

ネットワークOS	バージョン
OS	バージョン

[illegible]

186